

## 第1回掲載

### 「産業カウンセラーの現場から」掲載にあたって（案）

一般社団法人日本産業カウンセラー協会(以下「協会」と言います)は、大きく分けて3つの使命・テーマを持っています。

一つ目は、「産業カウンセラー」の資格をとるための研修、資格付与です。「産業カウンセラー」は協会独自の資格で、働く人のメンタル不調を予防するとともに、メンタル不調者のカウンセリングなどを行います。

二つ目は、他の機関も実施していますが「国家資格キャリアコンサルタント」の研修です。「キャリアコンサルタント」は、人が自分の生き方、働き方(今後の生き方・働き方・考え方・ライフプラン・学生の就職相談・転職相談など)について悩み迷ったときに相談にのってくれる人であり、企業・学校などでキャリア開発等についての研修も行います。国は現在10万人のキャリアコンサルタント養成を掲げて、受講料の補助などを行っています。

三つめは、組織における「人間関係」の問題です。組織で働く人々の悩みで最も多いのは「人間関係」ですが、これが良好になると働く人のモチベーションが上がり、生産性も向上すると言われています。「人間関係」の改善のための知見も協会会員は持っており、それらは、コミュニケーションの取り方、モチベーション、組織開発、働きやすさと働きがいのある職場づくりなどについての原則やノウハウです。

協会は、上記3つについての知見を、中部経済新聞の「ナビゲーター」というコラム欄にご紹介し幸いにも好評を得ました。具体的には、「メンタル不調にならないために」というタイトルで23回(2018年7月～2019年2月)、「人生100年時代に向けたキャリア開発 その考え方と方法」というタイトルで25回(2019年7月～2020年1月)、「働く人と組織」というタイトルで47回(2020年5月～2021年3月)です。

前3回では主に理論的なことが中心でしたが、今回は実務的なことをご紹介します。協会の会員である「産業カウンセラー」・「キャリアコンサルタント」が、自己の経験も交えて、資格を取得しようと思った動機、資格取得のための苦労談、資格取得後の仕事の内容、カウンセリングの実態、資格を取得してよかったこと、日ごろ感じていること、今後のあり方について思うことを赤裸々にご紹介します。読者の皆様に、「産業カウンセラー」・「キャリアコンサルタント」はどんな人になっているのか、どんな仕事をしているのかをご紹介します、ご自身もこの機会にぜひ資格に挑戦しようというように思っただけならば幸いです。協会の会員の活躍をぜひ知っていただくとともに協会の存在につきましても知っていただき、今後のお仕事に役立てていただければと思います。

一般社団法人日本産業カウンセラー協会 中部支部会員 産業カウンセラー 国家資格キャリアコンサルタント 社会保険労務士 杉本和夫